

サイボウズと北九州市、 全庁的な DX 推進に関する連携協定を締結

kintone を活用し自治体の業務改革を支援

サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：青野慶久、以下サイボウズ）は、北九州市と全庁的な DX 推進に関する連携協定を締結しました。目的は、市民サービスの向上や行政運営の効率化となります。



■協定の目的

本協定は、北九州市の全庁的な DX 推進の実現に向けて kintone（キントーン）を活用し、その有効性を検証するとともに、活用成果を発信することを目的としております。この協定を契機として、行政サービスのあり方をデジタル技術を活用して見直し、市民誰もが一人ひとりのニーズにあったサービスを最初から最後までデジタルで受けることができる、新しい価値を提供する市民目線の「デジタル市役所」の実現を目指します。

■連携協定の内容

- (1) 北九州市におけるデジタル技術を活用した全庁的な業務改革及びデータ利活用の推進
- (2) 北九州市職員の働き方改革の推進
- (3) 北九州市におけるデジタル人材の育成及び人材交流
- (4) 本取組によって北九州市が得た成果の庁内、市内及び他の行政機関等への発信
- (5) その他目的の達成に必要な事項

■業務改善プラットフォーム kintone で実現する、自治体の業務改革

①住民サービスのデジタル化

Web フォームと連携することで、個人・法人の行政手続きをオンライン化

②庁内業務のデジタル化

全庁に存在する紙・FAX・Excel の非効率業務を改善するプラットフォームに

③関係機関との情報共有化

他部門や関係機関とのスムーズな情報共有を実現

■北九州市長からのコメント

本協定の締結にあたりサイボウズ株式会社の皆様にはご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。本市は、今年4月にデジタル市役所推進室を新たに設置し、先進的なデジタル技術を最大限活用することで、市民サービスや市役所の庁内業務を抜本的に見直す「自治体 DX」を推進しています。

今月にはデジタル庁も発足し、より迅速な DX の推進が求められています。そのためには、職員が現場のニーズに即して、自らの力でデジタル化を短期間で進めていくことが重要であると考え、kintone を採用することとしました。

このたびの協定締結により、サイボウズ株式会社の知見を取り入れながら、全庁的な DX を更に加速させ、市民サービスの向上や行政運営の効率化を図ってまいります。

北九州市長 北橋 健治

■サイボウズ 栗山からのコメント

この度、北九州市様と kintone を用いた全庁的な「自治体 DX」の取り組みをご一緒できることを大変嬉しく思っております。職員の皆様と一緒にお互いのノウハウを集結しながら、スピード感を持った DX の推進を行えると確信しております。全国的にも自治体での DX の加速が求められている中、本取り組みが他の自治体にとっても良い参考例となれるよう、尽力して参ります。

サイボウズ株式会社 執行役員 営業本部長 兼 事業戦略室長 栗山 圭太



■kintone とは

製品サイト：<https://kintone.cybozu.co.jp/>

サイボウズ株式会社が提供する、業務アプリ開発プラットフォームです。営業の案件管理、お客様からの問い合わせ履歴やクレーム対応の管理、プロジェクトの進捗やタスク管理、従業員の業務日報など、お客様の用途に合わせた業務アプリの作成が可能です。アプリケーションはノンプログラミングで開発できます。また、社内 SNS のようなコミュニケーション機能を活用することでスピーディな情報共有が可能になり、業務効率化を実現します。

報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 ビジネスマーケティング本部：森、杉山

〒103-6027 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27 階

TEL: 03-4306-0803 / MAIL: pr@cybozu.co.jp

※商標・著作権表示に関する注記については、こちらをご参照下さい。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>